

## コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年8月15日

1. BMJ:例年より一月遅れの10月から新型コロナとインフルエンザ予防接種開始と決めた政府に対する医師層の不満と困惑 (意訳)
2. 札幌下水サーベイランス: 8月第2週も感染高レベル

### 【松崎雑感】

ある発熱外来では、来院者のほとんどがコロナ陽性だったと言う声が聞こえています。お盆の人流激しい時期ですので、むべなるかなです。

再感染、再々感染の方も増えています。感染を繰り返すほど、ロングコロナも増えます。秋の予防接種、油断なく行いましょう。

例年より一月遅れの10月から新型コロナとインフルエンザ予防接種開始と決めた政府に対する医師層の不満と困惑（意訳）

Mahase E. Covid and flu boosters to start in October to "maximise" protection, says NHS England. *BMJ*. 2023;382:p1860. Published 2023 Aug 11. doi:10.1136/bmj.p1860

冬に備えて10月からインフルエンザ予防接種を始めるとNHSイングランドが発表した。

NHSは、12月から1月の流行期に弱い人々を守るための対策であると述べた。昨年は9月に予防接種が始められている。

ケアホーム入所者と職員の接種は10月2日から開始される。それ以外の人々は10月7日からである。12月15日までにすべての接種を完了することになっている。小児のインフルエンザワクチン接種は9月1日から始められる。

ワクチン接種合同委員会は「ワクチンの効果は接種から3か月間に最大となる。秋に打てば、真冬の時期に感染防止効果が高くなる」としている。

## GP（イギリスの家庭医）の動揺

昨年よりワクチン接種を1か月遅らすという方針は、一般医に動揺をもたらしている。NHSイングランドの発表の数時間前に、イギリス医師会一般開業医（家庭医）委員会は、マリア・コーフィールド保健相に再考を促すよう保健社会福祉省に要請を行った。

「今回の接種時期繰り下げ措置は、患者のワクチン接種と医師の不可欠の公衆衛生対策の実行にも障害をもたらす」とイングランド家庭医委員会会長ケイティ・ブラモール・ステイナー氏は語った。

NHSイングランドは、ある程度この問題を認識している。ワクチン接種に伴う報酬の支払いは、ワクチン接種が開始されてから行われるのが通例だが、患者が例年通り9月からワクチン接種を希望した場合は、それに合わせて支払いが行われるという立場をとっているようだ。

NHSイングランドの今年のワクチン接種計画が家庭医に困惑をもたらしたのは、今回が二回目である。先週末に、ワクチン接種報酬を25%引き下げると通告したのである。

## 50才から64才までは接種対象から除外

この秋のコロナワクチン接種は、65才以上の人々と、生後6か月から64才までの感染弱者を対象として実施されるという。

50～64才の人々は、感染弱者と規定されていない。スコットランドと北アイルランドでは、50才以上の人々すべてにインフルエンザワクチンを打つことになっている。イングランドとウェールズでは、65才以上の人々を対象としている。

ワクチン接種合同委員会の方針では、コロナワクチンはケアホームの入所者とヘルスケアワーカーを接種対象者としている。

さらに、感染弱者のいる家庭の12～64才の人々も接種対象とされている。また、高齢者のケアラーである16歳以上の人々も対象とされている。

新型コロナワクチン接種を担当するワクチン接種合同委員会会長ウェイ・シェン・リム氏は「この秋のブースター接種は、重症化防止を第一目的として接種対象者を選択した」と述べている。

# 8月第2週も高レベルで感染推移

## 下水サーベイランス／札幌市 ([city.sapporo.jp](http://city.sapporo.jp))

下水サーベイランスの結果（新型コロナウイルス）

